

ドローン制御

ドローンを安全かつ簡便に飛行させる。

概要

- 監視者端末、操縦者端末・カメラなどの各種センサーを用いて、飛行ルート制御・生成・表示を行う技術。
- バッテリー残量に基づく制御、飛行ルート判定、視界通知などの情報を、操縦者や監視者の端末へ表示も可能。



活用

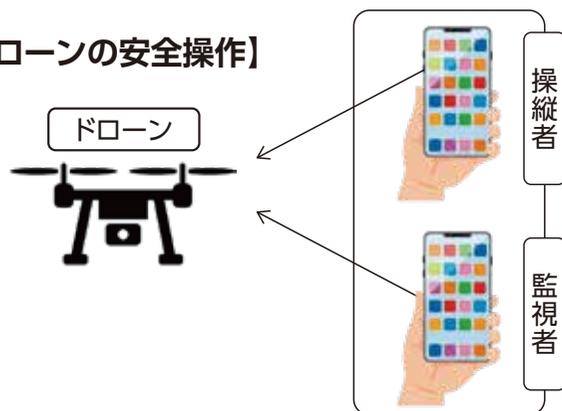
- 操縦者・監視者のセンサーを活用しながら、予め設定された領域内を安全かつ簡便に飛行させることにより、農薬散布、防犯対応等を操縦者の操縦技術レベルを問わずに安全な制御を提供することに貢献。



特徴

- 複数の操作者（監視者）から視認できる範囲を決定し、担当者へ通知する。
- 複数の操作者（監視者）から視認できる範囲で飛行ルートを設定する。
- 飛行ルート設定において飛行可能な時間で飛行できる範囲を表示する。
- 目的地がバッテリー残量から飛行可能か判断する。
- 照度により飛行可能か判断する。
- 操作者が操作装置を見てない状況では自動飛行する。

【ドローンの安全操作】



国土交通省HPより https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr10_000041.html